

ORACLE AOYAMA CENTER

オラクル青山センター



日本オラクル株式会社

〒107-0061 東京都港区北青山 2-5-8 オラクル青山センター

TEL 03-6834-6666 (大代表)

<http://www.oracle.co.jp/>

ORACLE®



日本オラクルはITの新しい価値を創造し、お客様の成功や日本社会の発展に貢献することを理念としています。

この理念に基づいた企業活動をおこなうために、私たちの働く環境は、プロフェッショナリズムをもった個人が集まり、自由にコミュニケーションする活気溢れたものにしたいと願っています。

オラクル青山センターは皆様に開かれた劇場です。この舞台がお客様、パートナー様、あるいはエンジニアやコンサルタントの皆様、そしてオラクル社員の輝ける場となり、沢山の感動を生み出す場となることを期待しています。

日本オラクル株式会社
取締役 代表執行役 社長
最高経営責任者 (CEO)

遠藤 隆雄

ORACLE®

1

Stage is ready for you.

開かれた劇場



社会に開かれたスペース

デザインの原点
建築家 佐藤 尚巳

オラクル青山センターのデザインとその発想の原点は街との融和でした。高層ビルは街の嫌われ者ではなく、街の賑わいを誘発し地域の核となってその価値を高める存在であるべきです。このプロジェクトでは街路のレベルで周辺の街と融合し、連続し、青山通り沿いだけでなく奥へと人を誘い、新たな人の流れを生み出す仕掛けが必要でした。

そこでオフィス空間を思い切り上層に持ち上げ、足元に街のスケールと調和する巨大なポイド空間を設けることを思いついたのです。この空間をプロセニウムアーチと称して都市劇場に見立て、オフィスロビー、ショールーム、店舗、人、車、街路樹、ストリートファニチャー等々に役者となってステージ内で演じてもらうことにしました。

1階中央を貫く通路の両側には店舗とショールームを配置し、最深部にある高級レストランに向かうリムジンがゆっくりと通り抜け、カフェからそれを眺めるイメージが目に浮かびました。通路は石畳。ゆっくりカーブして奥へ人を誘う。プロセニウムアーチには十分な高さがあり、街路樹の木陰が気持ちよく、高層棟の圧迫感を全く感じない建築と街路の完璧な融和を創り出すことができました。

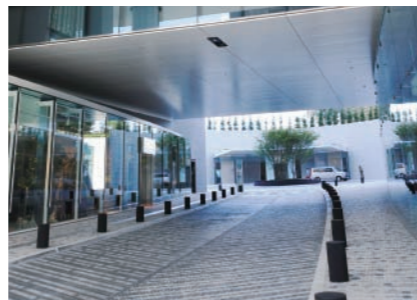
N. Sato

Direct Access



オラクル青山センターは、地下鉄銀座線外苑前駅と地下で直結しています。この優れたアクセスを生かして、誰もが訪れやすい親しみのある空間を目指します。

Court



明るく開放的なアーチを抜けてビルの奥へ足を運ぶと、季節に応じて表情を変える植物を配した中庭が現れます。

Entrance



エントランスから2階のスカイロビーへは、吹き抜けを利用したエスカレーターが用意されています。アプローチは外光を採り入れた明るい雰囲気です。

Sky Lobby



2階「スカイロビー」は大きなガラス面から差し込む自然光が落ち着いた空気を感じさせ、お客様を温かくお迎えします。



1

Stage is ready for you.

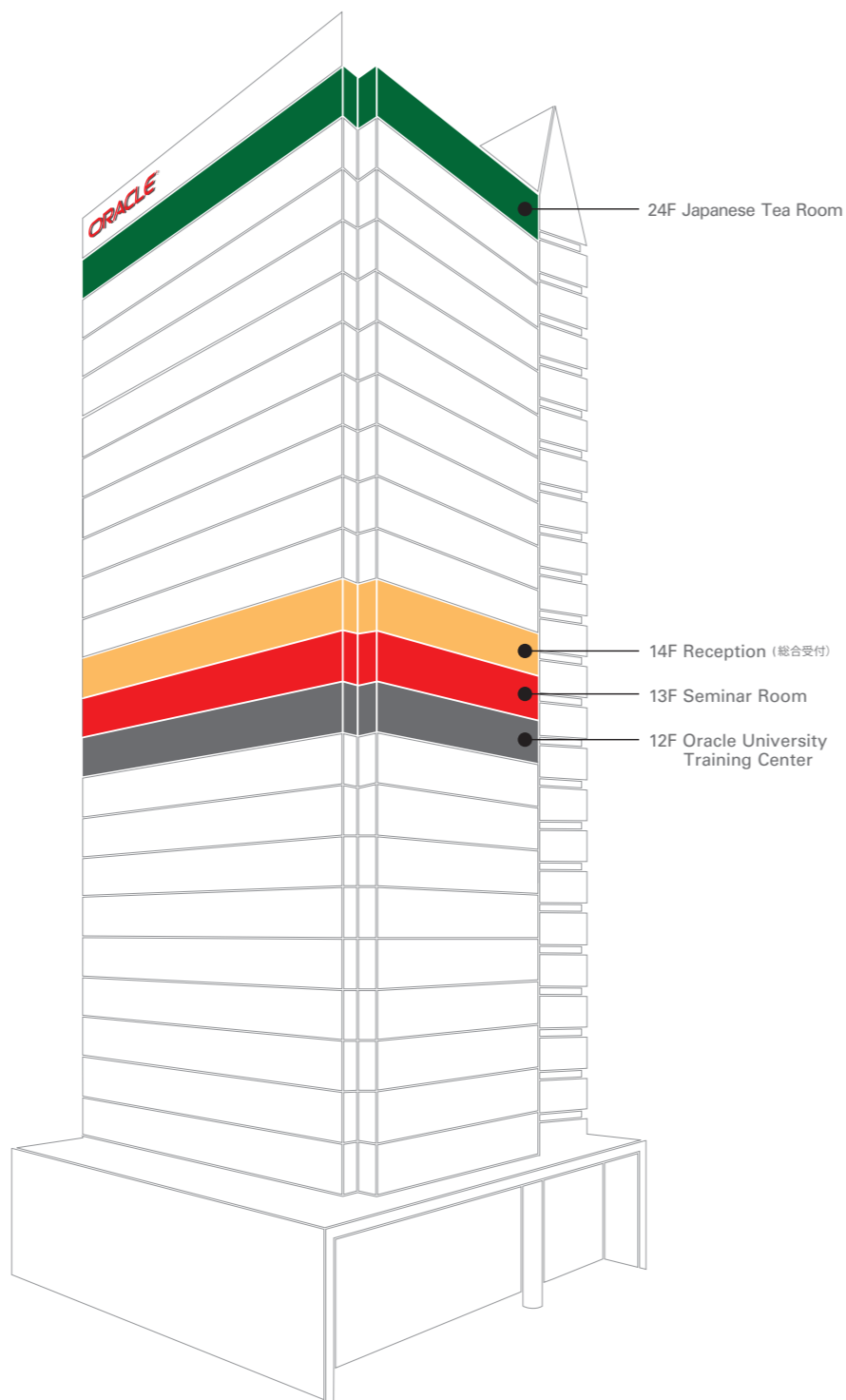
開かれた劇場



新たな価値を共に創造するスペース

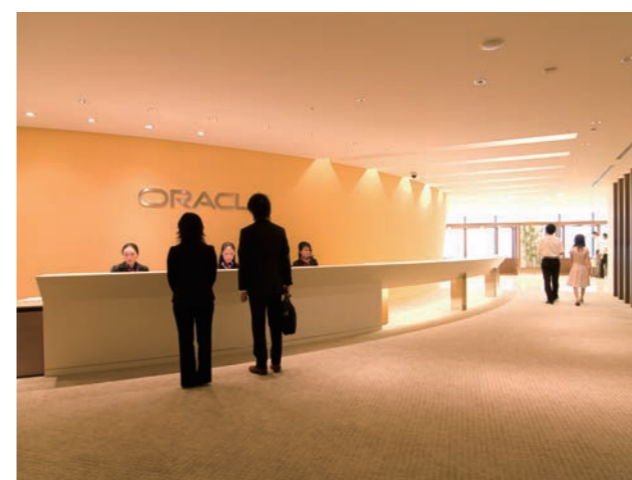
オラクルは単に製品やソリューションを販売するのみにとどまらず、お客様の経営に価値を提供し、お客様自身のビジネスの成功に貢献することを目指しています。

これを実現するために、オラクルのオフィス内には、お客様、パートナー様、エンジニア・コンサルタントの皆様とオラクルの社員がコミュニケーションを図るためのさまざまなスペースを用意しています。



24F Japanese Tea Room

オラクル青山センターでは、随所に和のテイストを取り入れており、最上階に茶室と日本庭園を設けています。「和の心でおもてなしを」という精神で、ビジネスで訪れる人にも、ひと時の安らぎと癒しを感じていただける空間となっています。



14F Reception (総合受付)

落ち着いたカラーリングで統一された14階フロアでは、都心の風景を楽しみながら打ち合わせやご商談ができます。ラウンジには電源や高速無線LANをご用意し、打ち合わせやご商談の合間にもお客様、パートナー様に仕事をしていただける環境をご提供いたします。



13F Seminar Room

製品の機能や導入事例、最新IT技術、各業界の最新動向など、お客様、パートナー様が必要とされるさまざまなテーマのセミナーを開催しています。パートナー様には自社製品のプロモーションや協業成果の発表の場として使っていただくこともできる自由度の高い空間です。



12F Oracle University Training Center

豊富なカリキュラムを、研修コースの特徴・人数に合わせ、全19部屋にてご提供いたします。また、エンジニアの皆様同士に活発な情報交換をしていただける場として、ゆったりとくつろげるラウンジをご用意しています。

2

People compose their own story.

社員一人一人の物語



Work@Everywhere



オラクルでは新しいワークスタイルとして、「Work@Everywhere」に挑戦しています。これは自社製品を中心に、最新のITインフラを活用することで場所にとらわれない働き方を実現するというコンセプトです

われわれがステークホルダーに提供する価値を最大化するためには、働き方も画一的なものではなく、職種の特性に応じたバリエーションが必要となります。

また、全社に適用している在宅勤務制度「Work@Homeプログラム」によりワーク・ライフ・バランスの推進、事業継続性の維持など、さまざまな効果が期待できます。

そして、これは自らの働き方をショーケース化し、新たなワークスタイルとして社会に提示するというオラクルの試みです。



Customer/Partner



お客様へのご提案、コンサルティング、運用支援、研修、共同検証など、オラクルは、お客様・パートナー様の会社に伺い、チームの一員としてお役に立てるよう、お客様の会社でも場所と時間に依存しない働き方を実践します。

Global



オラクルの視点はグローバルなものです。お客様に質の高いサービスをスピーディーにお届けすることを目指し世界中の社員が相互に活発なコミュニケーションとコラボレーションをおこなっています。

Home



日本オラクルでは在宅勤務制度「Work@Homeプログラム」を全社で展開しています。育児や介護など特殊事情のある社員のケアはもちろんのこと、職種の特性に応じて在宅勤務ができるフレキシビリティの高い制度です。これにより、社員のワーク・ライフ・バランスの向上と、職種に合わせた業務の効率化を推進しています。

ORACLE AOYAMA CENTER



オラクルのビジネスの中核を成すのが、オラクル青山センターです。社内のすべてのセクションがこの地に集約されることで、セクション間での情報共有も円滑となります。また最新のオフィス設備とITインフラは、オフィス以外で勤務する社員とのコミュニケーションのハブとしての役割も果たします。同時に、開かれたランドマークでもあるオラクル青山センターは、まさにオラクルに関わるすべての人にとってのシンボルでもあるのです。

2

People compose their own story.

社員一人一人の物語



ShowCase



オラクル青山センターの新しいオフィスでは、社員各自に固定のデスクは設けません。より開放的な発想に基づき、社員はその日の業務内容に応じて、各セクションに割り当てられたフロア内の好きなスペースで仕事をすることができます。

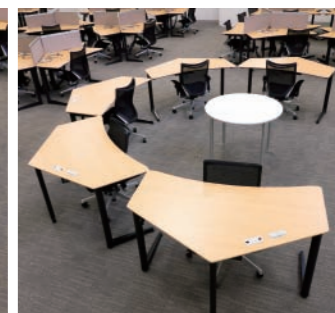
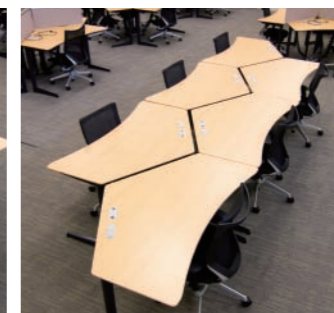
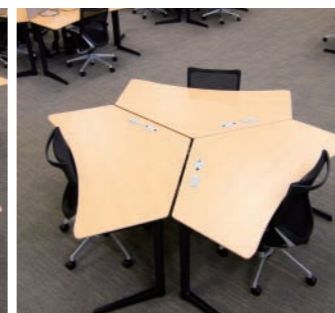
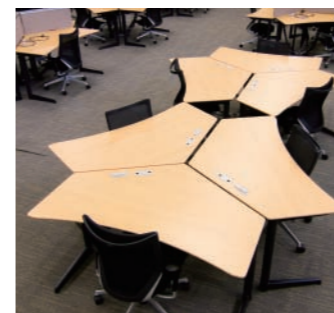
このオフィスのキーワードは、「Communication」と「Collaboration」です。業務中には、時として個人で集中して仕事をする必要も必要ですし、社員同士で意見交換しながらプロジェクトを推進していくことも必要です。オフィス空間を自由かつ最大限に活用することで、業務に最適な場所で仕事をおこなうことができ、社内の変化にも柔軟に対応できます。

このオフィスは社員が個々に自律した“プロフェッショナル”として、与えられた業務に対する最高のパフォーマンスを発揮する場であり、新しい働き方のスタイルを提案する“ショーケース”でもあります。ここで働く社員たちは、それぞれが重要な役割を担ったキャストであり、一人一人が物語を作っていきます。オラクル青山センターは、最新のオフィス施設、ITインフラといった“舞台装置”を兼ね備えた“劇場”なのです。



選べる

集中したい業務のときはコンセントレーション・スペース、他の社員と共同で作業するときには会議室やオープン・ミーティングスペースと、その日のワークスタイルに応じてスペースを使い分けることができます。



変化に柔軟

仕事のスタイルに応じて柔軟にデスクレイアウトを変え、常に最高の作業効率を求めるオフィスの使い方ができます。さらに社員増やセクション変更など、さまざまな変化にも柔軟に対応することができます。



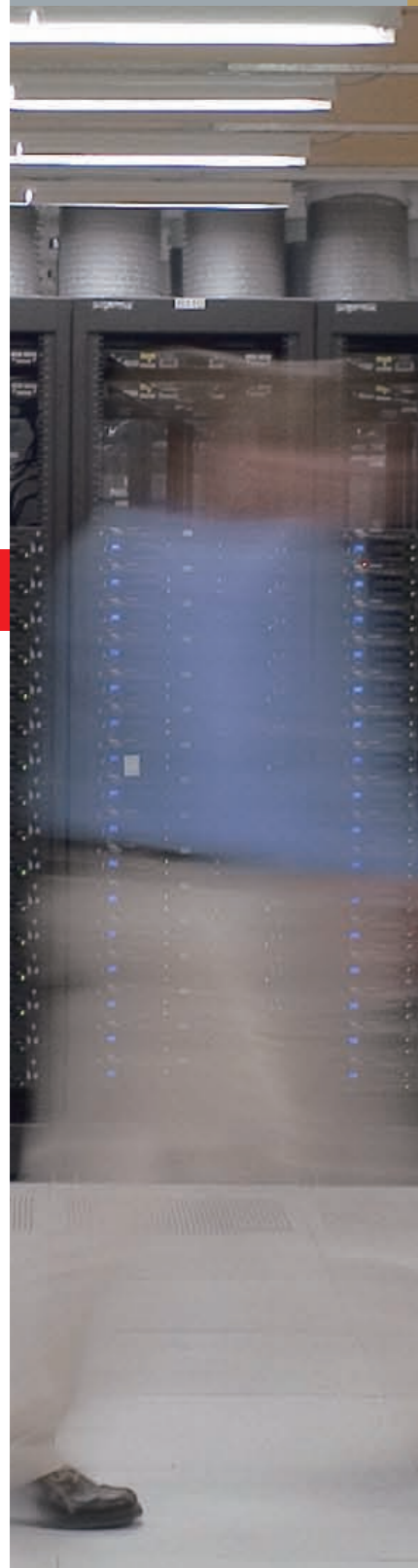
ペーパーレス

会議室にはプロジェクター、ミーティングスペースにはディスプレイを配置し、ペーパーレスな働き方で、情報漏洩リスクの低減と環境への配慮を目指したオフィス作りが可能です。

3

The Story has just begun.

物語はここから生まれる



Oracle GRID Center

グリッド戦略パートナーと次世代ビジネス・ソリューションを実現

オラクルでは、複数のコンピュータリソースをネットワークを共有して、より高性能なコンピュータとして利用するグリッド・コンピューティングを積極的に実践しています。IT資源の有効な運用、高い投資効果、さらには情報漏洩対策などコンプライアンスの向上、システム拡張時の迅速な対応など多くの期待に応えるために、オラクル青山センターには、世界最大級のグリッド検証環境として、パートナー企業様との協業によるOracle GRID Centerを設けています。

Oracle GRID Centerでは専任技術者配置をオラクルが担当し、各パートナー企業様にはハードウェアのご提供と技術者の配置を担っていただくという協業体制によって、新たなビジネス・ソリューション構築を可能にしています。さらにハードウェアの最適構成やベストプラクティスを研究して、セミナーを通じた情報提供をおこなうほか、グリッド技術者の育成もおこなっています。その規模・質ともに、世界でも屈指のグリッド検証環境といえるでしょう。

Oracle **GRID** Center

パートナー企業様

- 株式会社アシスト
- EMCジャパン株式会社
- 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
- インテル株式会社
- サン・マイクロシステムズ株式会社
- シスコシステムズ合同会社
- 新日鉄ソリューションズ株式会社
- デル株式会社
- 日本アイ・ピー・エム株式会社
- 日本電気株式会社
- 日本ヒューレット・パッカード株式会社
- ネットアップ株式会社
- 株式会社 日立製作所
- 富士通株式会社
- (五十音順・2008年9月現在)



3

The Story has just begun.

物語はここから生まれる



Oracle University

オラクル青山センターの完成にともない、東京エリアのトレーニングキャンパスを集約。データベースからミドルウェア、ビジネス・アプリケーションに至るさまざまなオラクル製品研修を、この新しい「トレーニングキャンパス青山」からご提供いたします。

オラクルユニバーシティが日本オラクルのオフィスと同じロケーションとなることで、受講者の皆様は研修だけでなく、フロアを移動してイベントに参加し業界の最新情報を収集したり、続けてオラクルのエンジニアとソリューションの提案や導入に関するミーティングをおこなうなど、スキルアップからビジネスまでをシームレスに遂行していただくことができるようになりました。

真に実力ある人材の育成を目指し、オラクルの総合的な教育サービスを提供するオラクルユニバーシティ。自らの技術をより高めたいというエンジニア・コンサルタントの皆様、最先端のスキルをもつ技術者を育成したいというパートナー企業様、そして導入したオラクル・ソリューションを有効活用したいというエンドユーザー様を、このトレーニングキャンパスを通じてサポートしていきます。

ORACLE
UNIVERSITY

www.oracle.com/jp/education





New Value from AOYAMA

オラクルは青山の土地から 新しい価値を創造します

日本で事業を開始して23年、多くのお客様、パートナー様、取引企業様、株主の皆様からご指導・ご協力を賜り、日本社会において事業の基盤を整えることができました。

今後はこのオラクル青山センターを日本オラクル第2巻の舞台とし、引き続き皆様と共に発展することを目指します。

今後も高い志を維持し続けながら、皆様から長期的に信頼される会社になることをすべての基本とし、企業活動をおこなっていく所存です。

今後とも、青山の地から新しい風を送り込んでいく日本オラクルにぜひご期待ください。

ORACLE® ORACLE AOYAMA CENTER

日本オラクル株式会社 (英文表記: Oracle Corporation Japan)
 〒107-0061 東京都港区北青山 2-5-8 オラクル青山センター
 TEL 03-6834-6666 (大代表)
<http://www.oracle.co.jp/>

設立	1985(昭和60)年10月15日	資本金	222億82百万円 (2008年5月31日現在)
代表者	取締役 代表執行役 社長 最高経営責任者 (CEO) 遠藤 隆雄	従業員数	2,135名 (2008年5月31日現在)
事業内容	ソフトウェア製品の販売 および当該ソフトウェア製品の 利用を支援する各種サービスの提供		

▶ アクセス



地下鉄銀座線
外苑前駅 4b出口より接続

地下鉄銀座線・半蔵門線・大江戸線
青山一丁目駅より 徒歩9分

地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線
表参道駅より 徒歩10分



オラクル青山センター 建物概要

所在地 東京都港区北青山2-5-8	設計監理 清水建設株式会社一級建築士事務所	施工会社 清水・間共同企業体	構造・規模 鉄骨造・一部鉄骨鉄筋コンクリート造地上24階・地下2階
プロジェクトマネジャー 三井不動産株式会社	デザイナー・アキテクト 株式会社 佐藤尚巳建築研究所	敷地面積 6,392.21㎡(1,933.64坪)	延床面積 47,234.97㎡

環境への配慮

環境・省エネルギー対策を積極的に実施することで、「CASBEE」(建築物総合環境性能評価システム)において、最高ランクであるSランクを取得。

- ▶ **屋上緑化、壁面緑化**
屋根面・壁面を緑化することで、空調エネルギー削減およびヒートアイランド現象を軽減。
- ▶ **Low-Eペアガラス**
熱線吸収ガラスを用いたLow-Eペアガラスを採用することで、日射・熱所得を削減し、空調エネルギーを削減。
- ▶ **電気エネルギー**
照明センサーにより、昼光利用が可能な場合は照明器具の出力を低減。人感センサーにより、共用部の照明を点滅させ、無駄な照明エネルギーを削減。
- ▶ **地域冷暖房**
地域冷暖房システムの利用により、地域単位でのCO₂排出量の削減を図り、地球温暖化防止に貢献。